

第2回女子美ベルリン賞報告書Ⅰ

略歴

宮本華子 MIYAMOTO HANAKO

1987年 熊本県に生まれる

2010年 女子美術大学芸術学部絵画学科洋画専攻 卒業

2012年 女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻洋画研究領域 修了

2016年 ドイツ・ベルリンに転居、在住

〈個展〉

2012年「さよなら、愛しい。」展 崇城大学ギャラリー（熊本）

2013年「よくぼうぼう」展 同会場

2014年「終わりは、始まり。」展 同会場

2015年「近くて、遠い人」展 同会場

2016年「つれづれ草 Berlin」展 Bethanien room139（ベルリン・ドイツ）

2019年「Was ich dir immer schon sagen wollte, aber nur dir nicht sagen kann」展
Bethanien room139（ベルリン・ドイツ）

「Bergwerk」展 ベルリン同会場

「Mein Lieber Alltag Tsurezurekusa 2019」 ベルリン同会場

〈グループ展〉

2015年 アーティスト・インデックス Scenne3 参加
（熊本市現代美術館・ギャラリーⅢ）

2020年 VOCA展（東京・上野の森美術館）

予定

2020年8月 個展予定（熊本・つなぎ美術館）

その他

2015年 市民アートパレード 三瀨末雄賞

同年 第7回香梅アートアワード 奨励賞

2016年 女子美美術奨励賞

2019年 女子美ベルリン賞

2020年 VOCA展佳作賞

第2回女子美ベルリン賞報告書II

「クストラウム・クロイツベルク / ベタニエン」滞在の動機・目的

私はベタニアのスペースで、2度の展示を開催したいと考えています。1度目の展示（2019年7月開催）では、映像作品を発表する予定です。この際、展示する作品はレジデンス期間以前に、制作し、滞在期間の序盤から会場で展示します。そこで、現地鑑賞者の反応を見て、次作への展開の構想を持つことまでが目標です。

映像の内容は、言語を主軸にしたコミュニケーションに関する作品を制作します。大学在学時から父との記憶、交流の不成立に付随した作品を制作してきました。しかし、私が海外に転居したことで、対象と物理的に距離を置いた時に、彼とのコミュニケーションが上手くいかなかった事以上に、間に入っていた他の家族、見方になってくれていた存在にさえ、伝えきれない、伝わらない感情を長らく持て余していたのだと気付かされました。そして、寧ろその事実が無意識に気持ちの重みになっていたようです。

私は現在、ドイツで生活しています。それによって、私は全くドイツ語が話せないわけではないが、親しくないドイツ語話者とは意思の疎通が難しく、また親しいドイツ語話者とは一定の意思の疎通は可能、しかし深い内容を伝えることまでは出来ない状態です。この現段階の意思の疎通の不十分ながらも、ある面では問題ない状況は、言葉の通じる家族との間に抱えていた問題と同じ、もどかしさを感じています。共通の言語があるなしに関係なく、生じているこの問題に向き合った作品を、映像という形で表現、発表しようと考えています。

2度目の展示は、期間の終盤9月に行います。1度目の展示をレジデンスのメインの部屋で開催しながら、同時に寝食スペースを利用して絵画作品を制作し、それを最後の月に発表したいと考えています。この作品はこちらに転居してから、新たに抱いた絵画イメージの具現化がスペースの問題で巨大な絵画は制作が実現していなかったため、それに取り組みたいです。

以上が私がベルリン・ベタニアンに滞在する動機であり、目的です。

第2回女子美ベルリン賞報告書Ⅲ

制作・研究活動

月日	生活	制作・作業	展示
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・2日、ベタニアン入居日 鍵の受け取り後、 施設の説明 ・展示の開場に慣れた中旬より 施設周辺の散策、 施設内の散策 ・足りない道具を自宅から 運び、生活を快適に。 ・友人とクロージングの料理 豚汁と炊き込みご飯作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・2日～5日に施設から道具を借りる。 (プロジェクター、展示台、長椅子 音響機器など) ・展示の準備、設置作業 ・展示開始から月曜から水曜を 制作、リサーチにあてる。 ・7月最後の週からクロージング の準備作業(料理、お酒等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6日個展開始 「Was ich dir immer schon sagen wollte, aber nur dir nicht sagen kann.」 映像インスタレーション作品 ※毎週木曜から日曜開場 (来場者：361)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を開けて眠るために 蚊帳を購入、設置 ・施設前の公園で夕方に ビールを飲みながら、 夏を楽しむ人々の観察 ・施設付近のバーやクラブに 出かけてみる。小さい規模が 多い。 ・自宅とベタニアンの移動が 増える。娯楽品が部屋に 増える。おもちゃなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の展示の「Bergwerk」の ためのリサーチ作業と制作を 進める。 ・ポスター制作、掲示作業 必要な道具を施設から借りる。 (冷蔵庫、椅子など) ・7月の展示の撤去、 24日からの作品設置作業 ・映像作品の撮影を朝と深夜 施設内で開始 ・9月の展示の作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・4日展示終了 クロージングパーティ開催 ・作品は撤去せず、期間内に 見れなかった友人の訪問に 合わせて開場 ・24日1日限定展示開催 「Bergwerk」 絵画を中心にした インスタレーション兼 パフォーマンス作品 (来場者：29)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・夜になると冷える日が増え 窓を開けなくなる。 施設前公園で夜、ビールを 飲む人も減る。夜が静かに なり、更に快適に。 ・友人に引っ越しの際の 車の運転をお願いする。 ・友人2人に手伝って貰い 引っ越し作業、鍵の返却 	<ul style="list-style-type: none"> ・「Bergwerk」の撤去作業 ・2週目ポスター作成、掲示作業 ・作品の設置作業 ・借りていた道具の返却 部屋の清掃、寝具類の洗濯作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・21日個展開始 「Mein Lieber Alltag Tsurezurekusa 2019」 絵画と映像を使用した インスタレーション作品 (来場者：254) 総来場者数：644 ・28日「部屋を山にする」 住居スペースにて自分の ためだけの展示開催



「Was ich dir immer schon sagen wollte , aber nur dir nicht sagen kann.」

2019

Installation



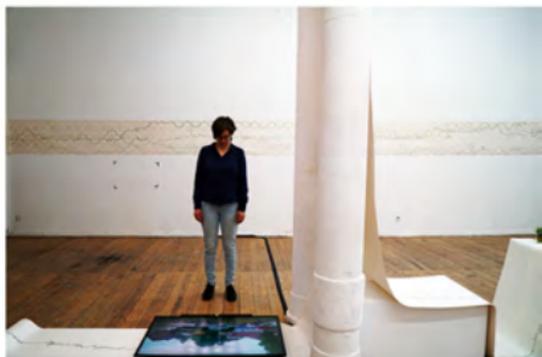


「Bergwerk」 Berlin 2019





Mein Lieber Alltag
Tsurezurekusa 2019





Hanako Miyamoto:
Was ich dir
immer schon
sagen wollte,

aber nur dir
nicht sagen kann.
Ein Kunstfilm.

6. Juli —
4. August 2019
Jeden Donnerstag
bis Sonntag
13—19 Uhr
Finnisage
4. August 2019,
18 Uhr

Room 139
Mariannenplatz 2
10997 Berlin —
Kreuzberg



Hanako Miyamoto

Mein lieber Alltag

Tsurezurekusa 2019
Berlin

Ab 21. September

Ausstellung

第2回女子美ベルリン賞報告書Ⅳ

結び

・滞在前と滞在後の制作活動・心境の変化

ベルリンの中心地にあるベタニアンで生活し、制作、発表活動を行ったことは非常に特別な時間となりました。1回目の展示の作品を発表した際に、多くの新しい出会いがあり、鑑賞者と作品を通して深く交流を持てたことは、今作の展開において重要なプロセスになると感じています。そして、この作品を発表することで制作自体を一度、止めることになるかと滞在前は考えていたのですが、そうはならず、まだ自分には作らなければ、作るしかない作品があることを知ることが出来ました。

それは、滞在前の私にとっては望まないことで、ネガティブに捉える行為でしたが作品を完成させたことで、続けた先にポジティブな終わりが見えて、前向きに作品制作に励むことが始まりました。

・滞在で得たこと、特に印象に残ったこと

滞在で得たのは多くの友人との会話の時間です。ベタニアンは中心地にあり、また滞在の時期はベルリンの最も良い季節の夏のため、多くの友人、また展示で新たに会った友人と、ベタニアンや付近でビールを飲みながら、長く丁寧な会話を持ちました。夏のベルリンを最も楽しめたことが印象的です。

・今後国際的に活躍するための課題・方法など

私は海外の鑑賞者の日本とは異なる視点の感想を改めて、しっかり自分の中に落とし込んでいく必要があると感じています。また、国際的に活躍するためには当然、積極的な姿勢を示さなければいけません。

ただ個人的には、その行為を行う事によって自分の内面によくない作用が多いと感じています。ですので、私は瞬発的な焦った判断や、反応を自制していくことが、長い目で見た時、自分にとって大事な方法なのだと考えます。